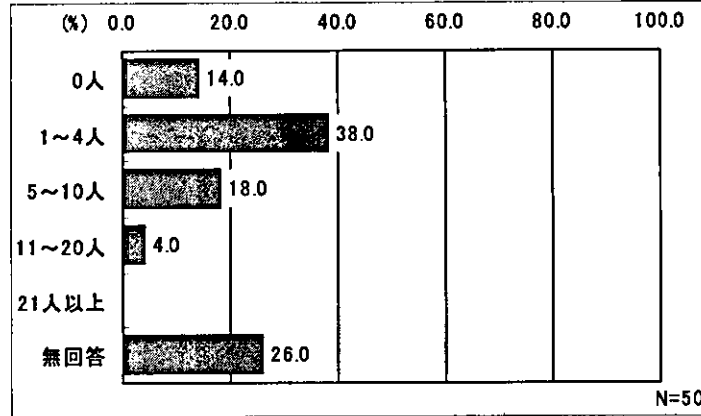


b. 夜間早朝（平日・土日含む）

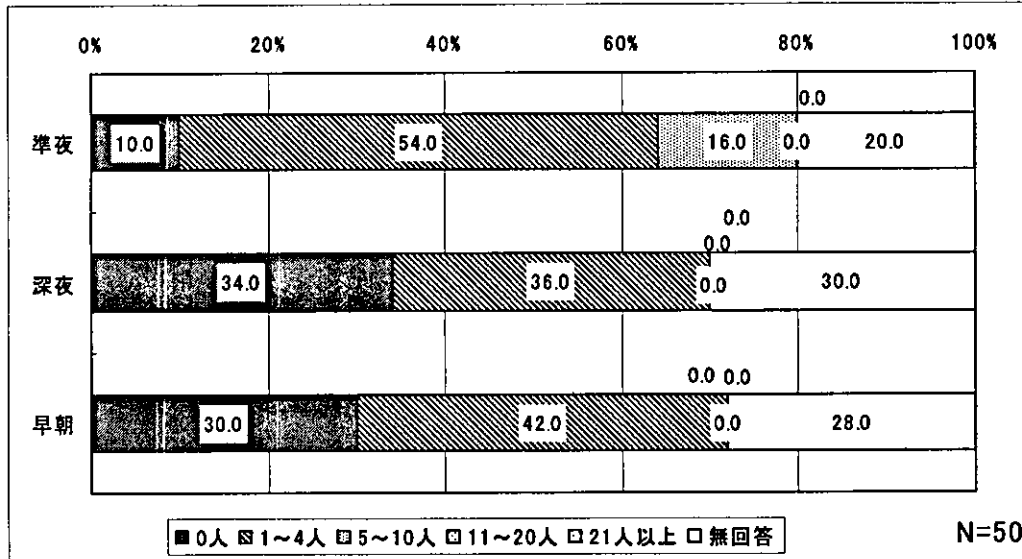
夜間早朝（平日・土日含む）については、「1～4人」が38.0%で最も多く、次いで「5～10人」が18.0%、「0人」が14.0%であった。平均は3.4人であった。

このうち準夜（18：00～22：00）については、「1～4人」が54.0%最も多く半数をこえていた。平均は2.6人。深夜（22：00～6：00）については、「1～4人」が36.0%で最も多く、平均は0.7人。早朝（6：00～8：00）については、「1～4人」が42.0%で最も多く、平均は0.9人であった。

図表 35 訪問全体の利用者人数（夜間早朝：平日・土日含む）



図表 36 訪問全体の利用者人数（準夜・深夜・早朝）



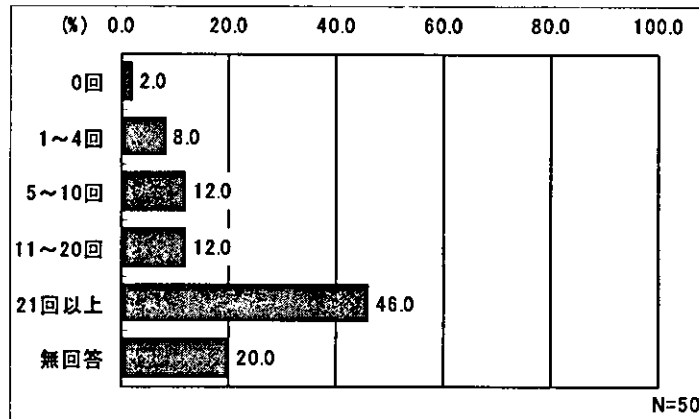
(イ) のべ訪問回数

a. 土日祭日昼間 (8:00~18:00)

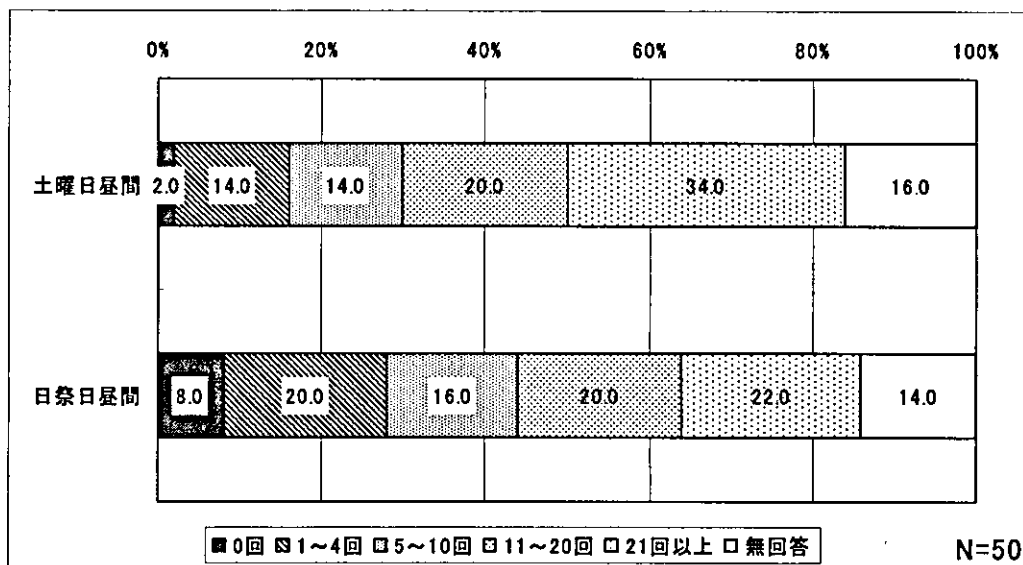
土日祭日昼間 (8:00~18:00) については、「21回以上」が46.0%で最も多く、次いで「5~10回」、「11~20回」がともに12.0%であった。最大値は141回、平均は36.1回であった。

このうち土曜日昼間については、「21回以上」が34.0%で最も多く、最大値は109回、平均は24.3回であった。日祭日昼間については、「21回以上」が22.0%で最も多く、最大値は94回、平均は15.0回であった。

図表 37 訪問全体ののべ訪問回数 (土日祭日昼間/8:00~18:00)



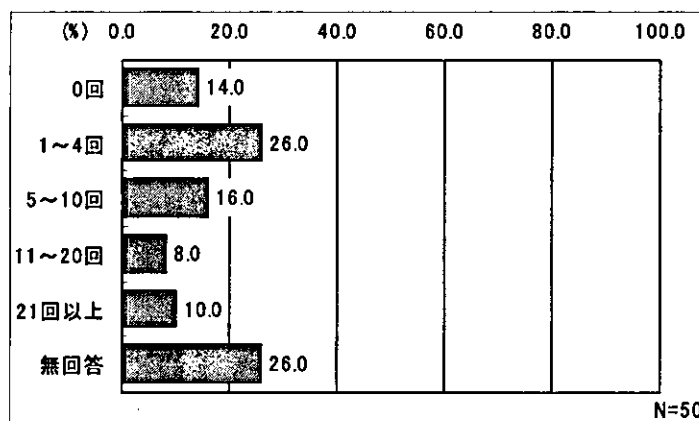
図表 38 訪問全体ののべ訪問回数 (土曜・日祭日昼間)



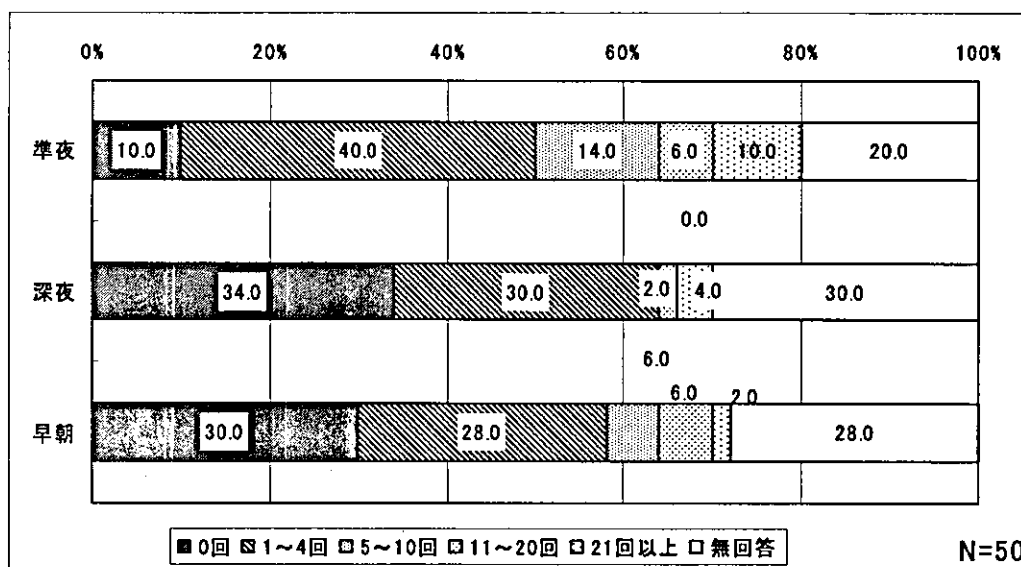
b. 夜間早朝（平日・土日含む）

夜間早朝（平日・土日含む）については、「1～4回」が26.0%で最も多く、次いで「5～10回」が16.0%、「0回」が14.0%であった。最大値は202回、平均は12.6回であった。このうち準夜（18：00～22：00）については、「1～4回」が40.0%で最も多く、最大値は109回、平均は10.4回であった。深夜（22：00～6：00）については、「0回」が34.0%で最も多く、最大値は62回、平均は4.6回であった。早朝（6：00～8：00）については、「0回」が30.0%で最も多く、最大値は31回、平均は3.5回であった。

図表 39 訪問全体ののべ訪問回数（夜間早朝：平日・土日含む）



図表 40 訪問全体ののべ訪問回数（準夜・深夜・早朝）



イ 計画的訪問

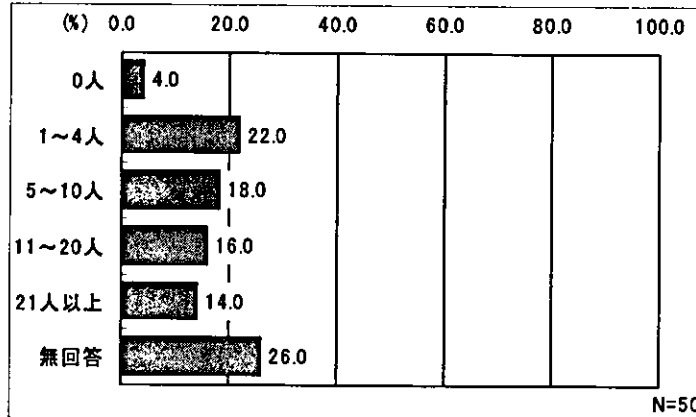
(ア) 利用者人数

a. 土日祭日昼間 (8:00~18:00)

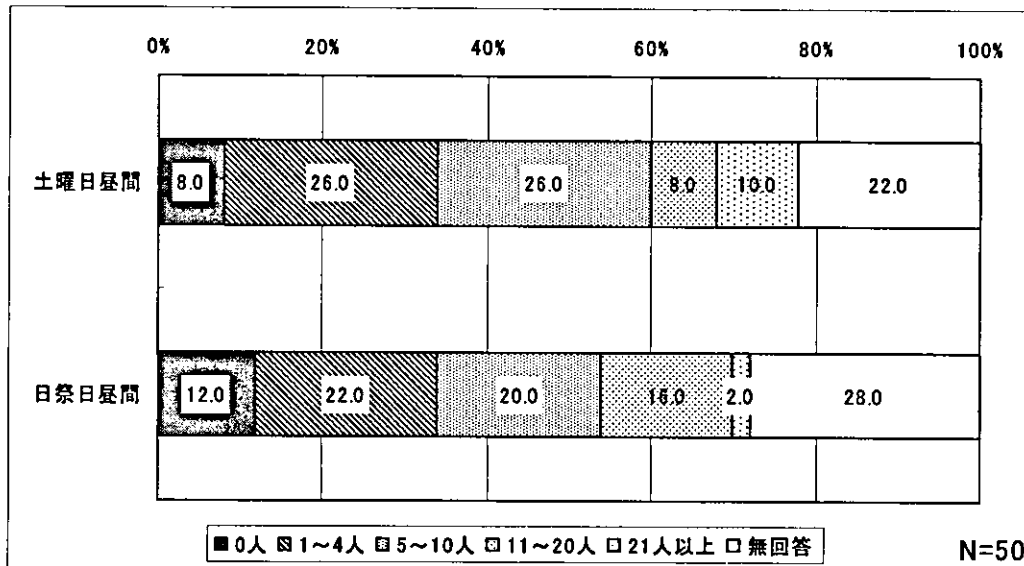
土日祭日昼間 (8:00~18:00) については、「1~4人」が22.0%で最も多く、次いで「5~10人」が18.0%、「11~20人」が16.0%であった。平均は11.6人であった。

このうち土曜日昼間については、「1~4人」、「5~10人」ともに26.0%で最も多く、平均は8.2人。日祭日昼間については、「1~4人」が22.0%で最も多く、平均は7.3人であった。

図表 41 計画的訪問の利用者人数 (土日祭日昼間/8:00~18:00)



図表 42 計画的訪問の利用者人数 (土曜・日祭日昼間)

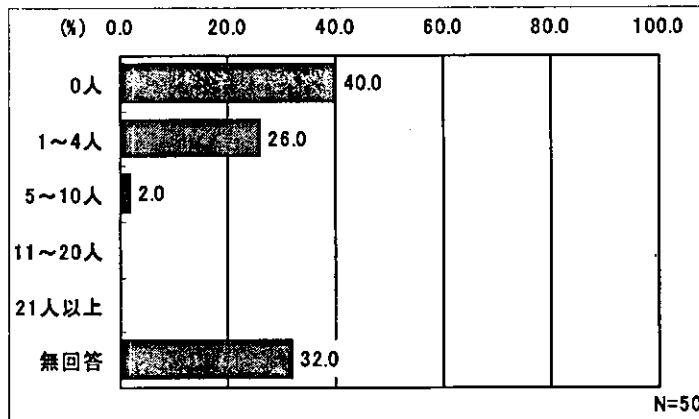


b. 夜間早朝（平日・土日含む）

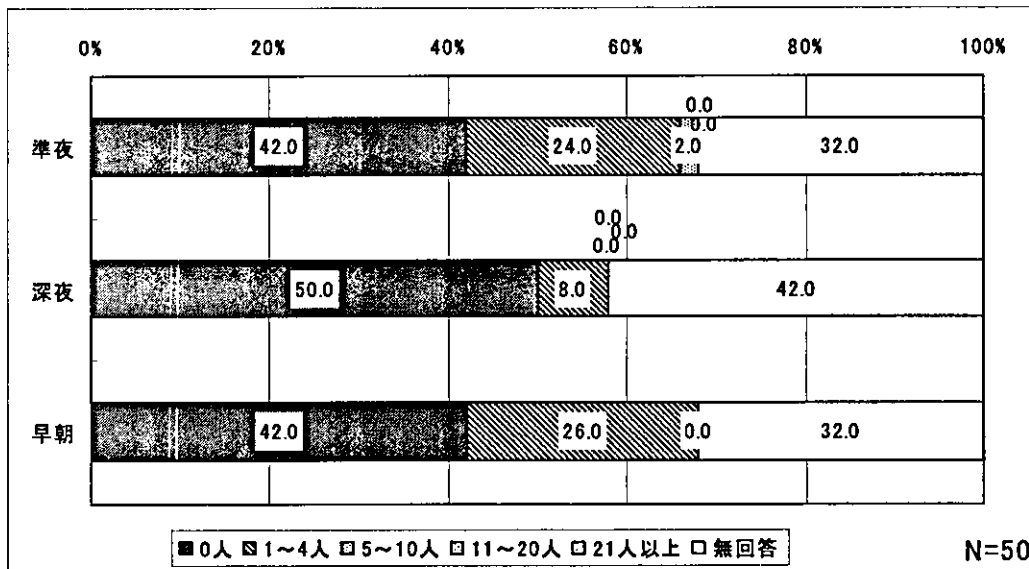
夜間早朝（平日・土日含む）については、「0人」が40.0%で最も多く、次いで「1~4人」が26.0%、「5~10人」が2.0%であった。平均は0.7人であった。

このうち準夜（18：00~22：00）については、「0人」が42.0%で最も多く、平均は0.7人、深夜（22：00~6：00）については、「0人」が50.0%で最も多く、平均は0.2人。早朝（6：00~8：00）については、「0人」が42.0%で最も多く、平均は0.4人であった。

図表 43 計画的訪問の利用者人数（夜間早朝：平日・土日含む）



図表 44 計画的訪問の利用者人数（準夜・深夜・早朝）



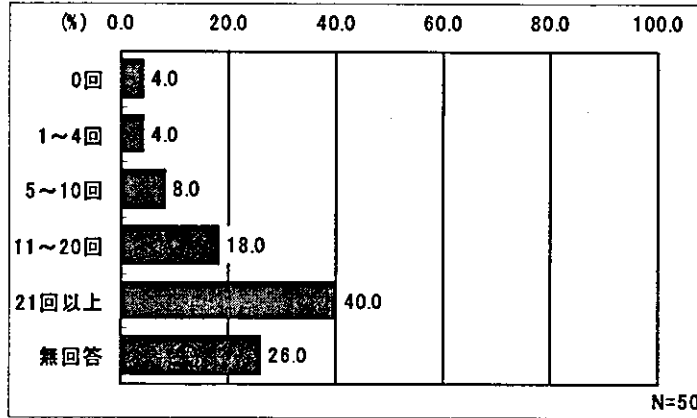
(イ) のべ訪問回数

a. 土日祭日昼間 (8:00~18:00)

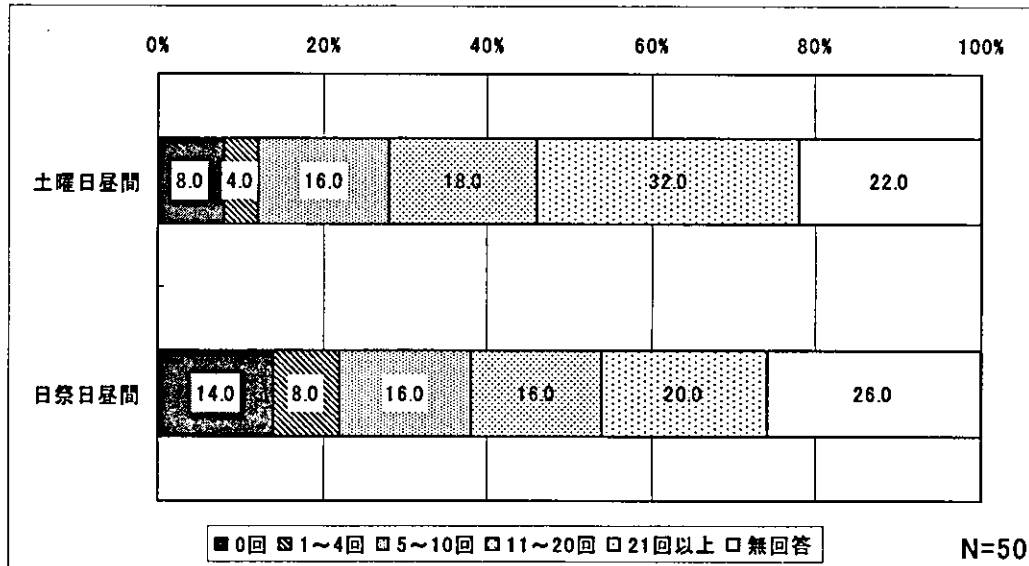
土日祭日昼間 (8:00~18:00) については、「21回以上」が40.0%で最も多かった。次いで「11~20回」が18.0%であった。最大値は139回、平均は34.9回であった。

このうち土曜日昼間については、「21回以上」が32.0%で最も多く、最大値は109回、平均は23.4回であった。日祭日昼間については、「21回以上」が20.0%で最も多く、最大値は93回、平均は15.6回であった。

図表 45 計画的訪問ののべ訪問回数 (土日祭日昼間/8:00~18:00)



図表 46 計画的訪問ののべ訪問回数 (土曜・日祭日昼間)

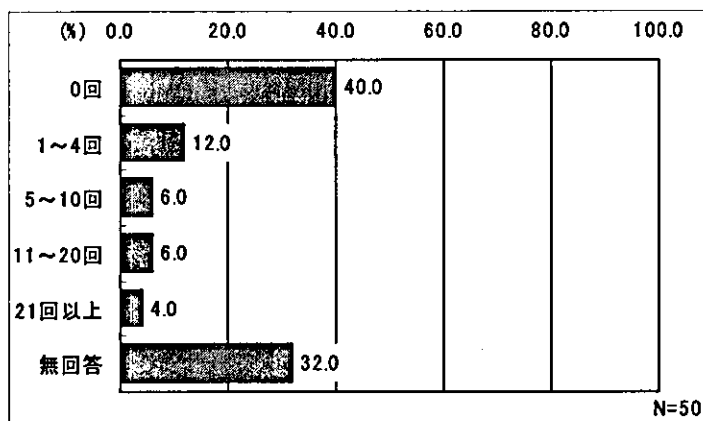


b. 夜間早朝（平日・土日含む）

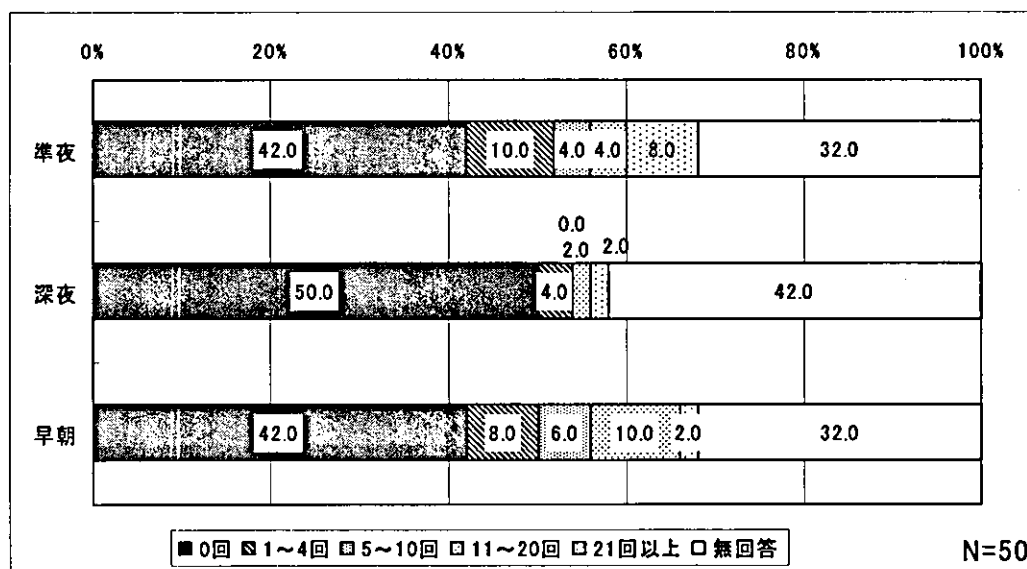
夜間早朝（平日・土日含む）については、「0回」が40.0%で最も多く、次いで「1~4回」が12.0%であった。最大値は202回、平均は9.9回であった。

このうち準夜（18：00～22：00）については、「0回」が42.0%で最も多く、最大値は109回、平均は7.6回。深夜（22：00～6：00）については、「0回」が50.0%で最も多く、最大値は62回、平均は2.7回であった。早朝（6：00～8：00）については、「0回」42.0%で最も多く、最大値は31回、平均は4.4回であった。

図表 47 計画的訪問ののべ訪問回数（夜間早朝：平日・土日含む）



図表 48 計画的訪問ののべ訪問回数（準夜・深夜・早朝）

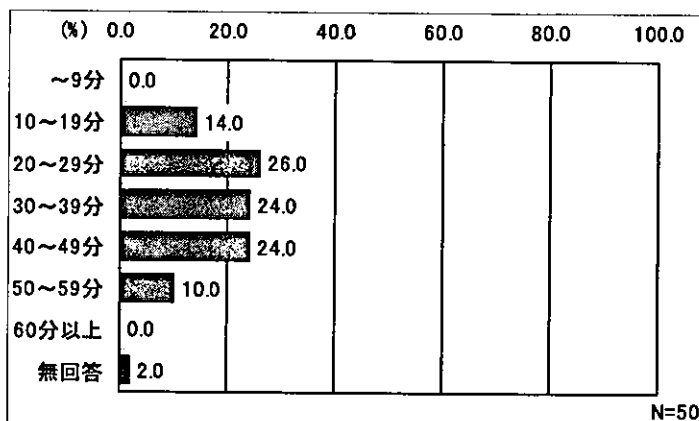


(6) 通常訪問している最も遠い利用者宅までの移動時間

ア 昼間の移動時間

通常訪問している最も遠い利用者宅までの移動時間の昼間の移動時間(片道を車で移動する場合の概ねの時間)は、「20～29分」が26.0%で最も多く、次いで「30～39分」、「40～49分」が共に24.0%であった。平均は30.0分であった。

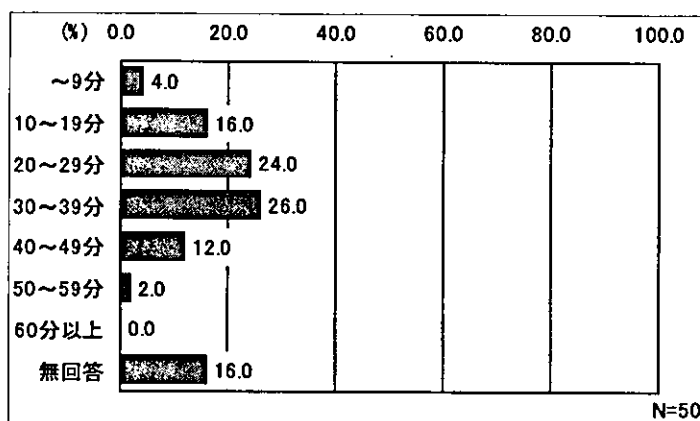
図表 49 昼間の移動時間



イ 夜間の移動時間

通常訪問している最も遠い利用者宅までの移動時間の夜間の移動時間(片道を車で移動する場合の概ねの時間)は、「30～39分」が26.0%で最も多く、次いで「20～29分」が24.0%、「10～19分」が16.0%であった。平均は25.2分であった。

図表 50 夜間の移動時間

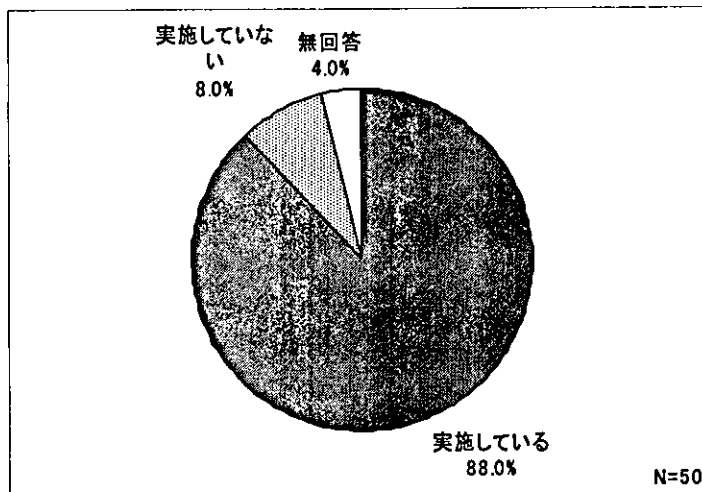


(7) 地域での看護職の連携状況

ア 他の訪問看護ステーションとの連絡会・事例検討会の実施状況

他の訪問看護ステーションとの連絡会・事例検討会の実施状況については、「実施している」が88.0%、「実施していない」が8.0%であり、多くの施設で実施していた。

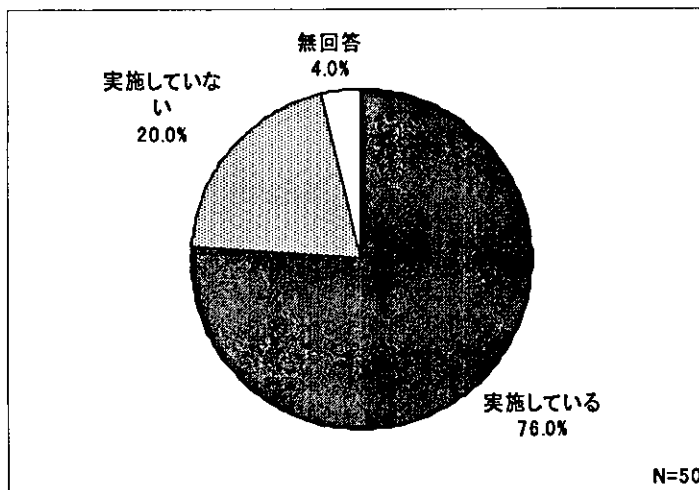
図表 51 他の訪問看護ステーションとの連絡会・事例検討会の実施状況



イ 市町村保健師・保健センターとの連携・事例検討会の実施状況

市町村保健師・保健センターとの連携・事例検討会の実施状況については、「実施している」が76.0%、「実施していない」が20.0%であった。

図表 52 市町村保健師・保健センターとの連携・事例検討会の実施状況

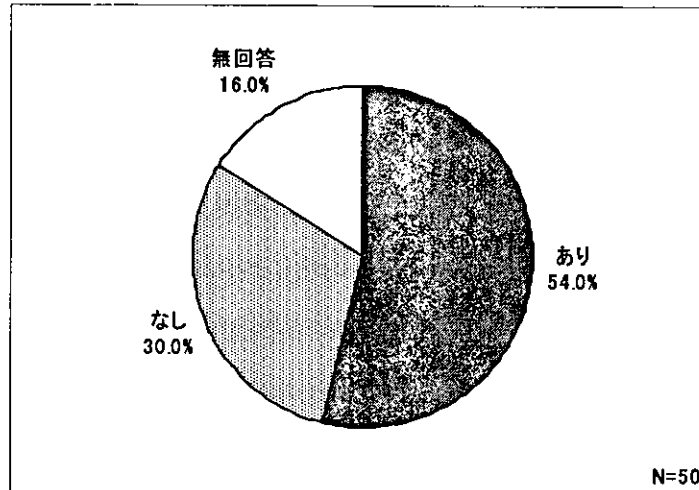


(8) 地域での夜間・早朝対応のための資源の状況

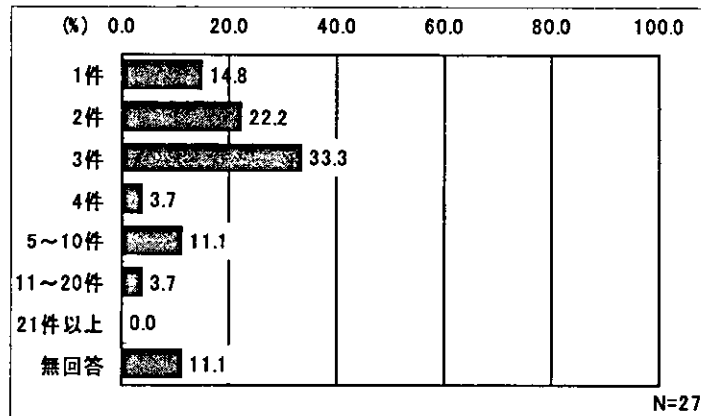
ア 後方病院の状況

後方病院の有無については、「あり」が54.0%、「なし」が30.0%であった。また、「あり」と回答した場合の地域*における施設数は「3件」が33.3%で最も多く、次いで「2件」が22.2%、「1件」が14.8%であった。平均は3.4件であった。

図表 53 後方病院の有無



図表 54 後方病院の施設数

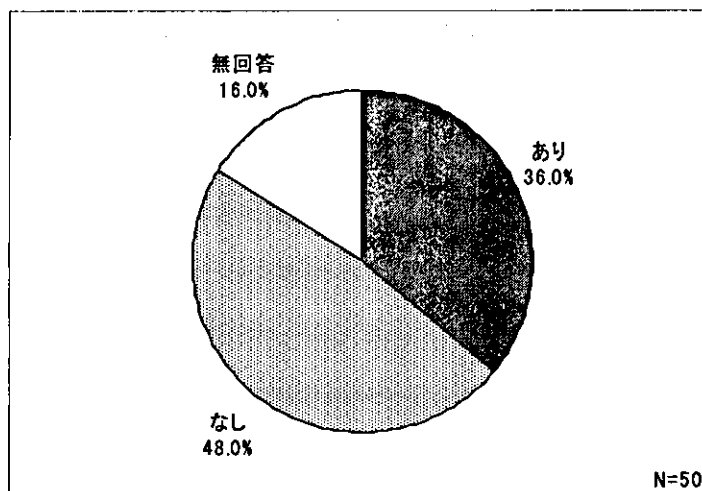


* 以下、「地域」とは、ステーションの通常訪問（夜間・早朝の訪問も含む）の範囲を指すものとする。

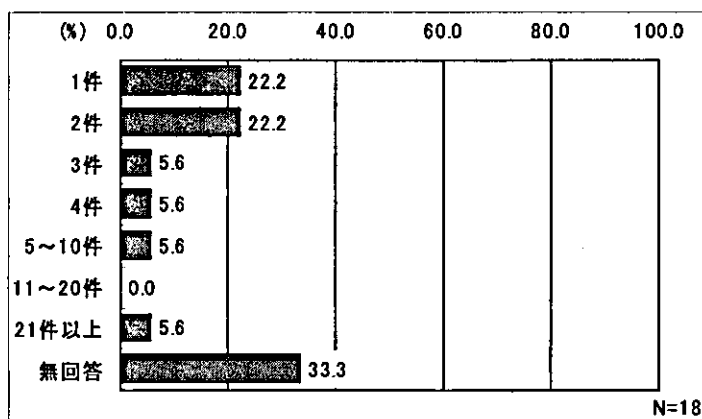
イ 24時間連携体制加算を算定する診療所の状況

24時間連携体制加算を算定する診療所の有無については、「あり」が36.0%、「なし」が48.0%であった。また、「あり」と回答した場合の地域での施設数は「1件」および「2件」が22.2%で最も多く、平均は4.3件であった。

図表 55 24時間連携体制加算を算定する診療所の有無



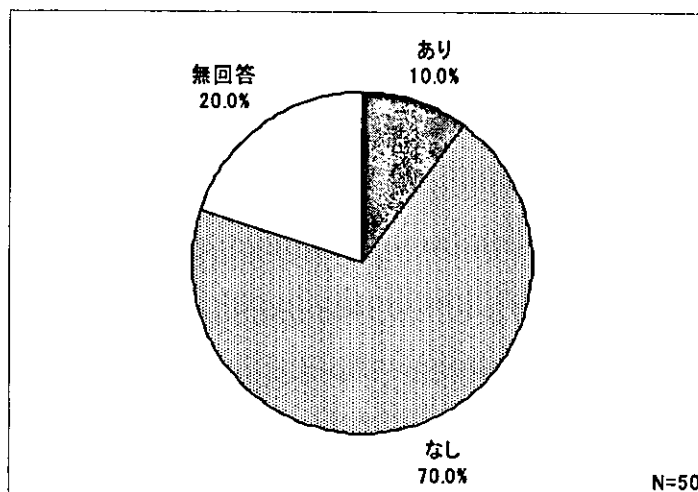
図表 56 24時間連携体制加算を算定する診療所の施設数



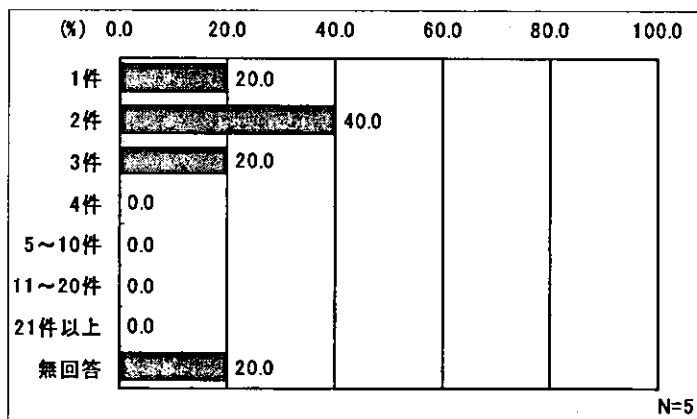
ウ 24時間の計画的訪問看護を実施する医療機関の状況

24時間の計画的訪問看護を実施する医療機関の有無については、「あり」が10.0%、「なし」が70.0%であった。また、「あり」と回答した場合の地域での施設数は「2件」が40.0%で最も多く、平均は2.0件であった。

図表 57 24時間の計画的訪問看護を実施する医療機関の有無



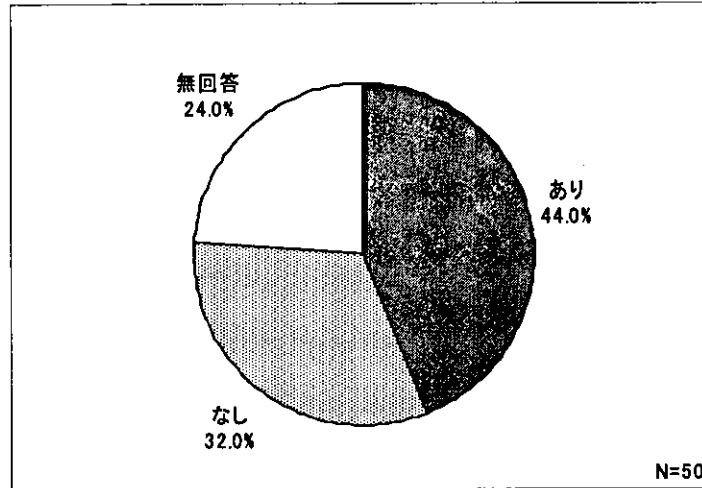
図表 58 24時間の計画的訪問看護を実施する医療機関の施設数



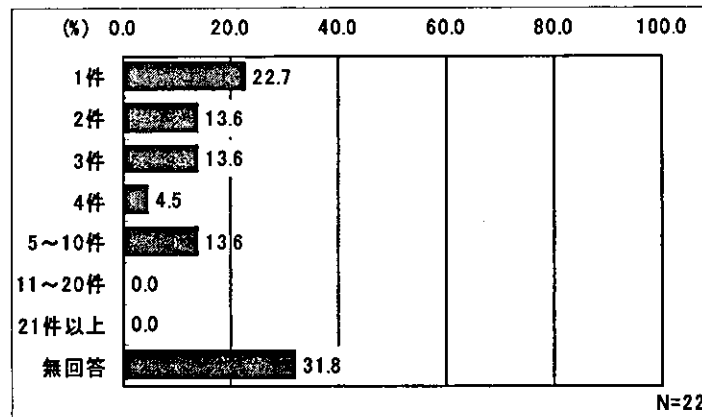
エ 24時間の計画的訪問看護を実施するステーションの状況

24時間の計画的訪問看護を実施するステーションの有無については、「あり」が44.0%、「なし」が32.0%であった。また、「あり」と回答した場合の地域での施設数は「1件」が22.7%で最も多く、次いで「2件」、「3件」、「5～10件」がともに13.8%であった。平均は2.9件であった。

図表 59 24時間の計画的訪問看護を実施するステーションの有無



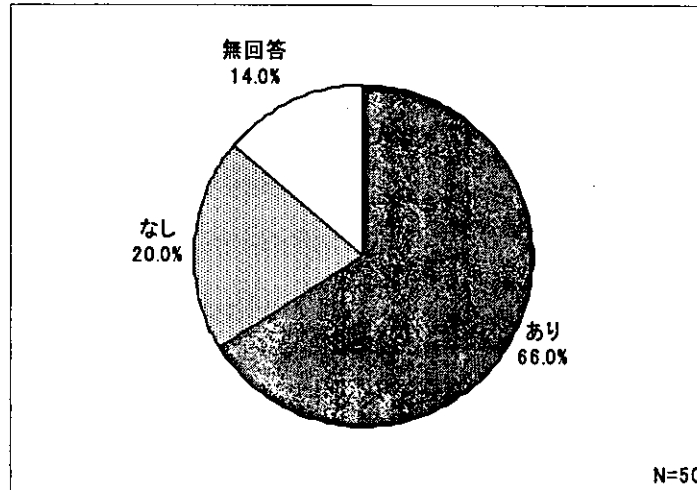
図表 60 24時間の計画的訪問看護を実施するステーションの施設数



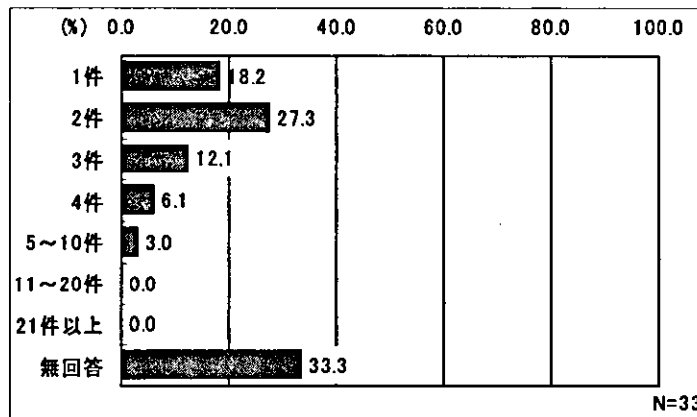
オ 24時間の計画的訪問看護を実施する訪問介護事業所の状況

24時間の計画的訪問看護を実施する訪問介護事業所の有無については、「あり」が66.0%、「なし」が20.0%であった。また、「あり」と回答したケースの地域での施設数は「2件」が27.3%で最も多く、次いで「1件」が18.2%であった。平均は2.5件であった。

図表 61 24時間の計画的訪問看護を実施する訪問介護事業所の有無



図表 62 24時間の計画的訪問看護を実施する訪問介護事業所の施設数

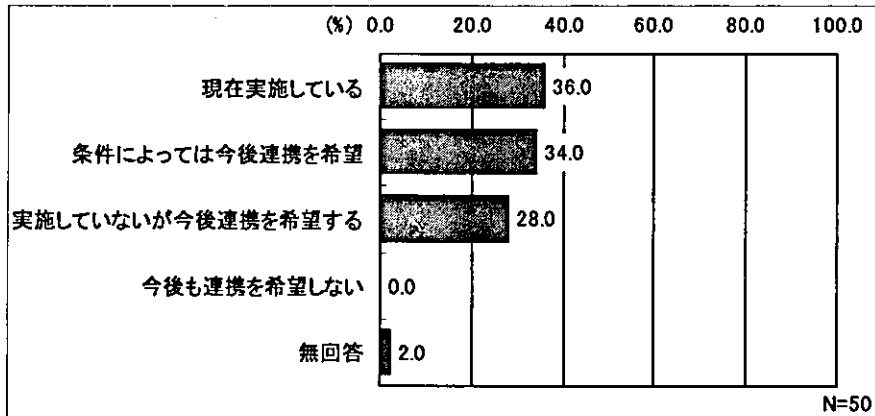


(9) 夜間・早朝対応のための地域の他機関との連携の状況・意向

ア 他の訪問看護ステーションとの連携の状況・意向

他の訪問看護ステーションとの連携の状況・意向は、「現在実施している」が36.0%、「条件によっては今後連携を希望」が34.0%、「実施していないが今後連携を希望する」が28.0%であった。

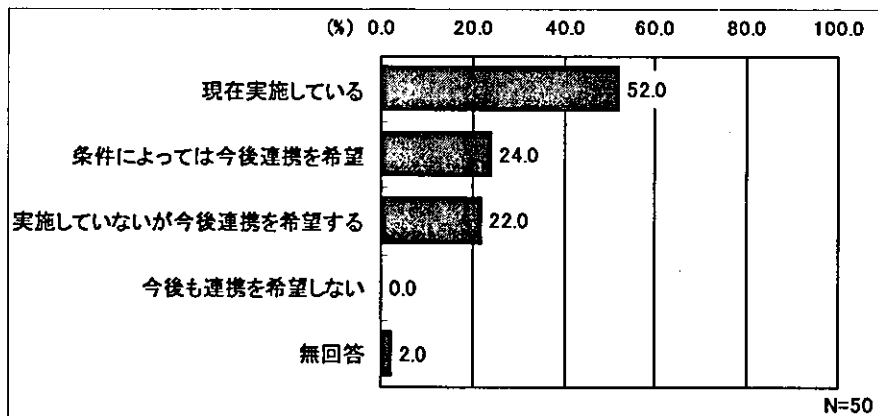
図表 63 他の訪問看護ステーションとの連携の状況・意向



イ 訪問介護との連携の状況・意向

訪問介護との連携の状況・意向は、「現在実施している」が52.0%、「条件によっては今後連携を希望」が24.0%、「実施していないが今後連携を希望する」が22.0%であった。

図表 64 訪問介護との連携の状況・意向

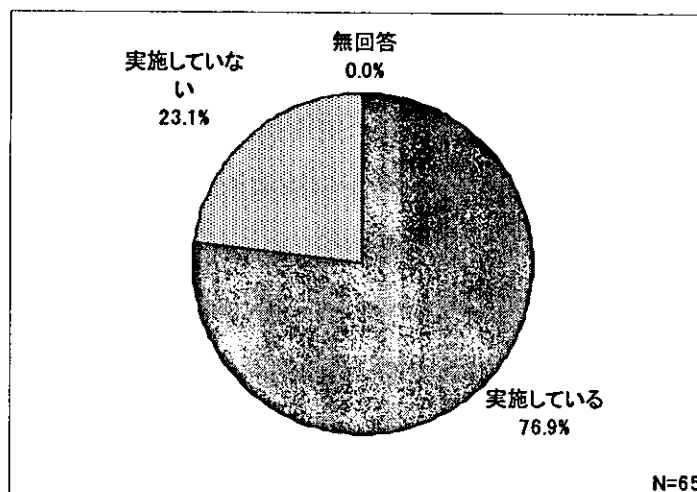


(10) 計画的な夜間・早朝訪問の実施の有無

計画的な夜間・早朝訪問を実施している施設を対象としたため、計画的な夜間・早朝訪問を実施の有無については、「実施している」が 100.0%であった。ただし、本調査では分析の対象外とした回収した施設票の中には「実施していない」と回答したものもみられた。有効回答の施設票全体では、下図の通り「実施している」は 76.9%であり、「実施していない」との回答も 23.1%みられた。

その原因は、以下の通りと考えられる。今回、平成 15 年度の調査結果に基づき、夜間・早朝訪問を実施している施設を対象に調査票を送付したが、本調査の実施までに計画的な夜間・早朝の訪問を取りやめた施設が存在するためではないかと考えられる。

図表 65 参考：計画的な夜間・早朝訪問の実施の有無
(有効回答の施設全体：65 施設を対象)

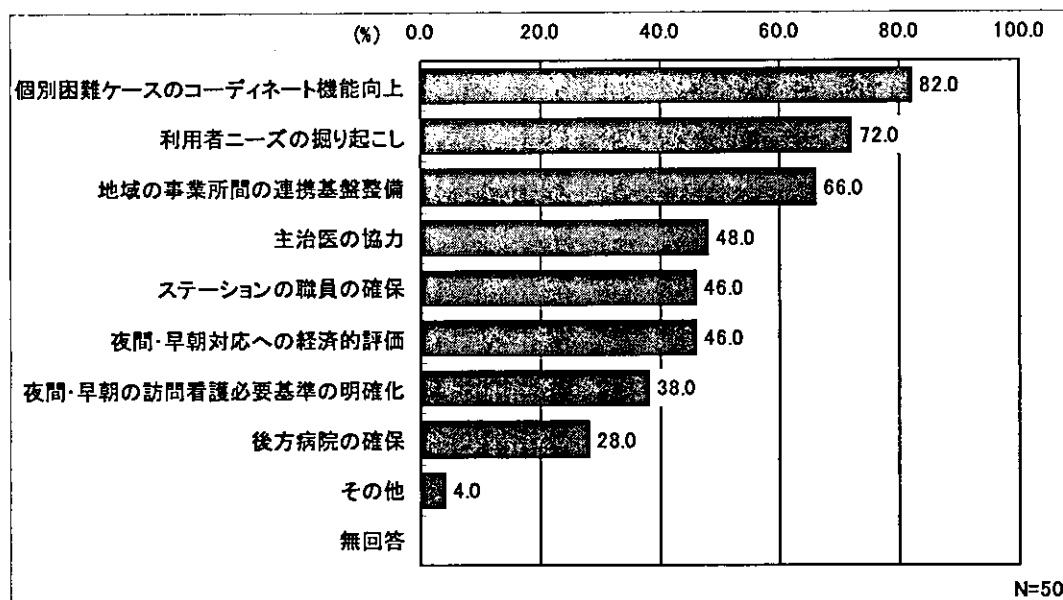


(11) 地域の夜間・早朝の看護対応体制をより充実する方法

地域の夜間・早朝の看護対応体制をより充実する方法としては、「個別困難ケースのコーディネート機能向上」が82.0%で最も多かった。

次いで「利用者ニーズの掘り起こし」が72.0%、「地域の事業所の連携基盤整備」が66.0%となっていた。

図表 66 地域の夜間・早朝の看護対応体制をより充実する方法

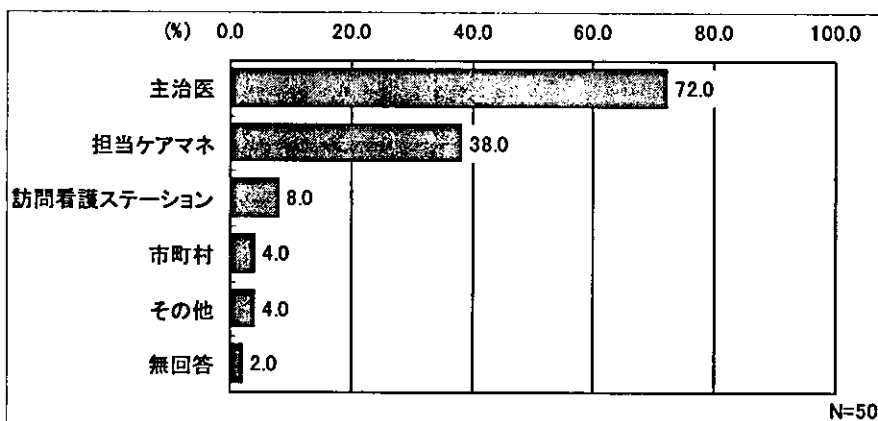


(12) 夜間・早朝の看護体制を必要とする個別困難ケースの調整等について

ア 個別困難ケースの調整等で現在、主にリーダーシップを取っている機関

現在、主にリーダーシップを取っている機関は、「主治医」が72.0%で最も多く、次いで「担当ケアマネ」が38.0%、「訪問看護ステーション」が8.0%であった。

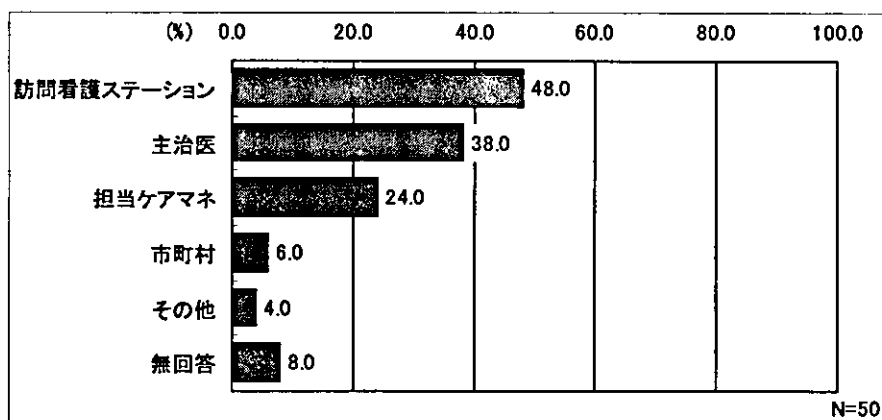
図表 67 現在、主にリーダーシップを取っている機関（個別困難ケースの調整等）



イ 個別困難ケースの調整等で、本来、主にリーダーシップを取るべき機関

本来、主にリーダーシップを取るべき機関については、「訪問看護ステーション」が48.0%で最も多く、次いで「主治医」が38.0%、「担当ケアマネ」が24.2%であった。訪問看護ステーションに現状よりもリーダーシップをとって欲しいと考えている施設が多いことがわかった。

図表 68 本来、主にリーダーシップを取るべき機関（個別困難ケースの調整等）

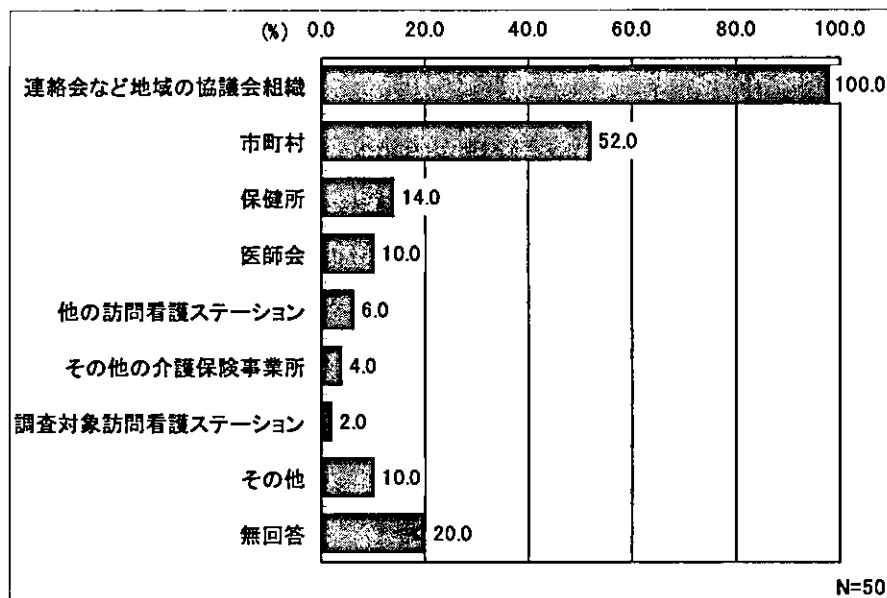


(13) 夜間・早朝の看護体制を地域で実施・構築するための、事業所間の連携・基盤整備について

ア 事業所間の連携・基盤整備で現在、主にリーダーシップを取っている機関

現在、主にリーダーシップを取っている機関は、「連絡会など地域の協議会組織」が100.0%で最も多く、次いで「市町村」が52.0%、「保健所」が14.0%であった。

図表 69 現在、主にリーダーシップを取っている機関（事業所間の連携・基盤整備）



イ 事業所間の連携・基盤整備で本来、主にリーダーシップを取るべき機関

本来、主にリーダーシップを取るべき機関は、「保健所」が32.0%で最も多く、次いで「調査対象訪問看護ステーション」が26.0%、「医師会」が18.0%であった。現状では「連絡会など地域の協議会組織」がリーダーシップをとっているのに対し、「保健所」が主導で事業所間の連携・基盤整備を進めていくことを望む意見が多いことが明らかとなった。

図表 70 本来、主にリーダーシップを取るべき機関（事業所間の連携・基盤整備）

